



第312号

2015年(平成27年)1月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町8-33
大阪府医師協同組合東館4階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成二十七年

年頭所感

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 運天 政五郎



明けましておめでとうございます。

会員ならびに府民の皆さまにおかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年はギニアで発生したエボラ出血熱が世界に広がり、感染者1万5千人以上、死者5千人以上に拡大、WHOも「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を出すにいたりました。この背景には人の移動が広範囲になったことがあります。

また、ロシアのウクライナ軍事介入、中国の海洋進出摩擦、香港の学生デモ、イラク紛争、スコットランド独立住民投票、米国中間選挙、衆議院解散選挙とさまざまな出来事がありました。グローバル化時代を迎えた今日、世界で起こっている出来事は国家や地域の境界を越えて私たちの暮らしに大きく影響することを痛感させられました。臨床検査技師も身近な学術研鑽だけでなく大局的な見地で政治・経済・医療を考え、医療への貢献を考える時代になりました。

昨年、臨床検査技師等に関する法律が改正され、今年4月から診療の補助として患者さんから微生物学的検査等の検体採取ができるようになりました。これは臨床検査技師の追加免許に当たるため日臨技が主催する厚生労働省指定講習2日を終了していることが条件になります。近畿地区では1月24日・25日、2月28日・3月1日、3月7日・8日に関西医科大学枚方キャンパスで開催されます。

私たち臨床検査技師は、患者さんから検体採取を行う、標準化された検査データを提供する、患者さんに検査説明と検査相談に対応するという一連の業務を担うこととなります。

今年は、大阪府臨床検査技師会が日臨技近畿支部学会(第55回)を担当することになりました。学会テーマ「臨床検査から医療への主張」、サブテーマは、「点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて」としました。多くの演題申込および参加をお待ちしています。

平成27年も昨年に引き続き役員一同、力を合わせて公益社団法人 大阪府臨床検査技師会を運営していく所存でございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

末筆ながら皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



日臨技からのお知らせ

検体採取等に関する 厚生労働省指定講習会

- 日時** 平成27年 ① 1月24日(土)～25日(日)
② 2月28日(土)～3月1日(日)
③ 3月7日(土)～8日(日)

上記3回のうち1回の受講となります

会場 関西医科大学枚方キャンパス 加多乃講堂

受講料 会員10,000円(非会員で受講申込時会員登録される方を含む)
非会員30,000円(資料代含む)

**施
要
網**

日臨技ホームページを参照してください。

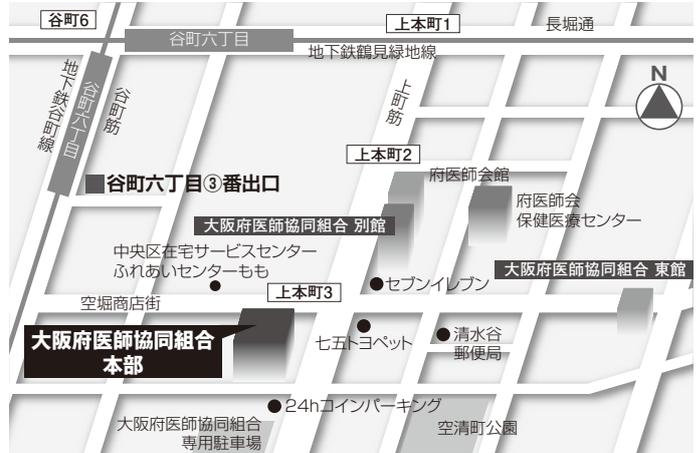
**申
込
み
先**

日臨技ホームページ指定講習会専用ページからの申込みになります。

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 肝がんの診断と治療のトピックス

- 日時** 平成27年1月31日(土) 14:00~16:50
(受付13:30~)
- 会場** 大阪府医師協同組合本部 8階
(大阪市営地下鉄 谷町六丁目駅③番出口下車)
- 参加費** 無料
(どなたでも参加していただけます。)
- 定員** 200名(先着)
- 主催** 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
公益社団法人 大阪府放射線技師会
- 後援** 大阪府・大阪市
- 連絡先** 市立豊中病院 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp



教育講演Ⅰ 14:10~14:50

- 1.「肝がんの血液検査」
- 2.「肝がんの超音波像」～肝細胞がんを中心に～

講師:市立芦屋病院 臨床検査科 上田 一仁
講師:PL病院 中央臨床検査部 森 雅美

教育講演Ⅱ 14:50~15:30

- 1.「肝臓領域のMRI」
- 2.「肝がんでのCT・IVRの役割とは?」

講師:大阪赤十字病院 放射線科 高津 安男
講師:大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部 市田 隆雄

特別講演 15:40~16:40

「肝がんの診断と治療のトピックス」

講師:関西医科大学香里病院 副院長 消化器内科 広原 淳子

渉外部 からお知らせ

平成26年度 第2回 献血推進活動 (通算第43回)

市民への献血呼びかけ・献血協力

- 日時** 平成27年2月28日(土) 10:00~16:30
- 会場** 「難波グリーンガーデン」(献血車:400ml採血限定)
および 「まいどなんば献血ルーム」

連絡先 市立豊中病院 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp

大臨技会員、臨床検査技師養成 大学・学校 の皆様、
賛助会員の皆様 ご参加ご協力お願いいたします。

学術部 臨床化学検査部門 からお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 知っておきたい分析前段階におけるデータの変動要因

生化学検査は検査技術の向上により、適切なメンテナンス・精度管理を実施していれば誰が測定しても同じ検査結果を得ることができるようになりました。しかし、採血前～分析までの管理は施設によってバラバラであるのが現状かと思えます。1月の勉強会では、採血手技や検体前処理などによる検査値の変動要因について一緒に考えていきたいと思います。

- 日時** 平成27年1月8日(木) 18:30~20:00
- 会場** 大阪医療技術学園専門学校
- 参加費** 会員500円 非会員1,000円
- 連絡先** 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail: Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp

- 1.「ガイドラインに沿った標準採血法」
講師:ニプロ株式会社 検査商品開発営業部 市川 裕之
- 2.「検体前処理における検査値の変動」
講師:大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 上野 信弥

超音波技術研究会・特別講演会

1月の超音波技術研究会は講師をお招きして特別講演会を企画します。

下腹部痛の原因としては虫垂炎、憩室炎など消化管疾患もありますが、当然、尿管結石など尿路系の検査も必須であり、さらに女性の場合では子宮や卵巣など、考慮しないといけない臓器・疾患も多く、超音波に迅速な原因特定の期待がかかる反面、複雑で悩む場面も多いのではないのでしょうか。

そこで今回、超音波講習会などでご活躍の、東邦大学医療センター大森病院・丸山憲一先生をお招きし、「下腹部痛における超音波診断」と題してご講演いただきます。なお、女性の骨盤腔内臓器については、急性腹症以外でスクリーニング時にみられた場合の良悪性鑑別を含めた対応についてもお話しいただく予定です。多くのご参加をお待ちしております。

Theme 「下腹部痛における超音波診断」

講師 東邦大学医療センター大森病院
丸山 憲一

日時 平成27年1月16日(金) 18:30~20:15

会場 住友病院 14階講堂

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 住友病院 尾羽根 範員
E-mail: obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp



生理検査部門 特別講演会

先月号にてお知らせしましたように、1月の生理部門定期講習会は、特別講演会としてアクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社との共催で行います。テーマは、「肺高血圧症」です。なお、年間行事予定表と日付が異なること、また、会場が通常とは異なることをご確認ください。

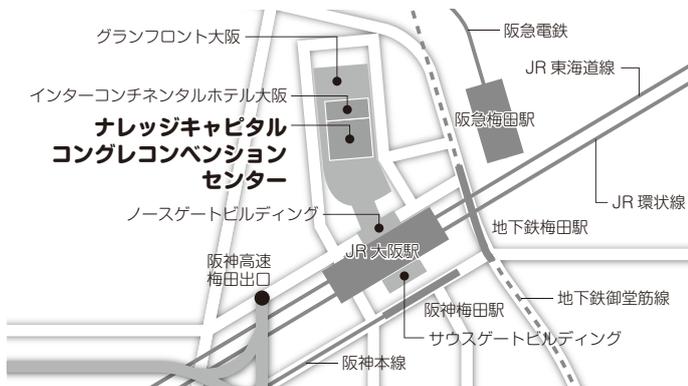
日時 平成27年1月21日(水) 18:30~20:30

会場 コングレコンベンションセンター B2F Room1
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪北館

参加費 会員500円 非会員1,000円

共催 アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社 大阪支店
TEL:06-6445-6274 FAX:06-6445-6275

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 安保 浩二
E-mail: kaboreinaren@gmail.com



- ◆電車をご利用の場合◆
JR「大阪駅」より徒歩3分 地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩3分
阪急「梅田駅」より徒歩3分
- ◆車をご利用の場合◆
阪神高速道路池田線「梅田出口」から約3分

18:20~	「トラクリア錠62.5mg製品紹介」 アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社
18:30~19:30	講演 [座長] 市立豊中病院臨床検査部副部長 山内 一浩 済生会中津病院 膠原病内科部長 中澤 隆 1. 「肺高血圧症における心エコー検査のポイント」 (講演、質疑応答20分) 講師: 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 主査 安保 浩二 2. 「CTD-PAHの患者の対応-寒さ大敵-」 (講演、質疑応答40分) 講師: 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学 講師 嶋 良仁
19:30~20:30	特別講演(ご講演50分、質疑応答10分) [座長] 大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学助教 中岡 良和 「肺高血圧症の診断と最新の治療」 講師: 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科医長 大郷 剛

* 会終了後、発表内容についての情報交換会をご用意しておりますので併せてご出席ください。

日臨技申請事業 輸血中級講座

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回の中級講座は、皆さまからのアンケートの回答で多かった内容の2講演を企画しました。血小板・白血球関連の検査法から臨床応用と輸血副作用についておよび小児新生児輸血療法全般についてお話していただきます。ふるってご参加ください。

内容

1. 「抗白血球抗体、抗血小板抗体と輸血効果ならびに輸血副作用との関わりについて」
講師：日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 検査部 検査三課 高 陽淑
2. 「新生児の輸血療法」
講師：りんくう総合医療センター 小児科 和田 芳郎

日時 平成27年1月10日(土) 15:00~17:00
(受付14:30~)

会場 大阪医科大学 看護学部看護学科講堂
(6ページ下段 地図 北西キャンパスを参照)

参加費 会員1,000円 非会員2,000円(資料含む)
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。
※12月号掲載内容から変更になっています

連絡先 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail:yuketsu_osaka@yahoo.co.jp
TEL:(06)6372-0675

日臨技推進事業 輸血セミナー2015



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年度の輸血セミナーは、講演2題とシンポジウムを用意しました。

講演は、遺伝子検査によるABO血液型の解析についてと、最近全世界的に脅威となっているエボラ出血熱をはじめとするデング熱、チクングニア熱、シャーガスなどの新興感染症について、血液センターの対応も含めてお話していただきます。また、シンポジウムでは、このたび11年ぶりに改訂された「赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン」について解説します。新しいガイドラインに沿った検査がなされているか、自施設の輸血検査方法を改めて点検するきっかけにしてみても、いかがでしょうか。皆様の参加をお待ちしています。

日時 平成27年2月14日(土) 10:00~16:00

会場 大阪医科大学 看護学部看護学科講堂

参加費 会員3,000円 非会員5,000円
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail:yuketsu_osaka@yahoo.co.jp
TEL:(06)6372-0675

講演①	10:00~11:00 「ABO血液型遺伝子検査」 講師：日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 石井 博之
講演②	11:10~12:10 「脅威となりつつある感染症」 講師：日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 平山 文也
昼休憩	12:10~13:30(各自でご用意ください)
シンポジウム	13:30~16:00 『赤血球型検査(赤血球系検査)ガイドライン(改訂1版)』の解説
講演①	13:30~14:30 講師：大阪府済生会中津病院 検査技術部 深田恵利奈
講演②	14:30~15:30 講師：大阪市立大学医学部附属病院 輸血部 藤野恵三
総合討論	15:30~16:00

多職種 公開講座

平成26年度 第2回 NST・褥創講演会



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

褥瘡治療に最も関連の深い微量元素は亜鉛とされています。今回は亜鉛と褥瘡特集を企画しました。亜鉛と褥瘡の基礎、褥瘡患者様の実際のケア方法、治療の最前線を一緒に勉強しましょう。

Theme「亜鉛と褥瘡特集」

内容

1. 臨床における褥瘡治療の最前線(仮称)
講師：多根総合病院 形成外科医 中西 新
2. 亜鉛と褥瘡
講師：ニプロ株式会社 検査商品開発営業部 米花 昇
3. 褥瘡とその皮膚ケアについて
講師：岸和田市民病院 皮膚排泄ケア認定看護師 加藤 裕子

日時 平成27年2月7日(土) 14:30~17:00

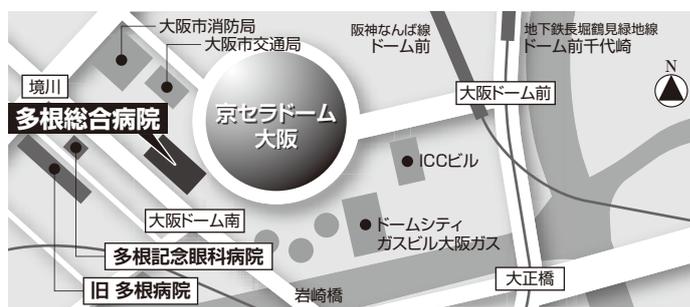
会場 多根総合病院 4階講堂

参加費 500円(一律)

定員 50名

連絡先 多根総合病院 中央検査部 堀 仁

E-mail: chuken@tane.or.jp



多職種
公開講座

第26回 糖尿病療養指導士講演会

予告

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 糖尿病診療における最近の話題

日時 平成27年2月11日(水・祝) 13:20~17:00
(受付12:45~)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円(一律)

共催 田辺三菱製薬株式会社

連絡先 ぶくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として、
<第2群>糖尿病療養指導研修 1単位(申請中)あるいは、
<第1群>自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位
どちらか一方で認定申請可能です。

講演
1部

- 「次世代をつくる！
『糖尿病エキスパートスタッフ養成講座』」
講師：大阪市立総合医療センター 臨床検査技師
横田 裕香
- 「当院における糖尿病チーム医療の実際
～糖尿病イベント“ためしたカッテン”を中心に～」
講師：大阪市立総合医療センター 看護師
倉岡 賢治

糖尿病関連商品のご紹介
「SGLT2 阻害剤カナグル錠について」
田辺三菱製薬株式会社

講演
2部

- 「『7つの習慣』をいかした糖尿病治療」
講師：大阪市立総合医療センター
糖尿病・内分泌センター 部長 細井 雅之

多職種
公開講座

ICT 部会講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

平成26年度、第2回目のICT部会講習会を開催いたします。
今回のテーマはICT環境ラウンドです。ラウンドは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師など多職種で実施します。各職種が専門性を活かし、それぞれの視点でラウンドすることにより問題点を発見することができます。

今回の講習会ではラウンド時に臨床検査技師がどのような視点で行えばよいか、耐性菌の重要性、問題となる微生物の特徴などを知って頂き、積極的にラウンドに参加していただければと企画いたしましたのでぜひご参加ください。

日時 平成27年1月23日(金) 18:30~20:00

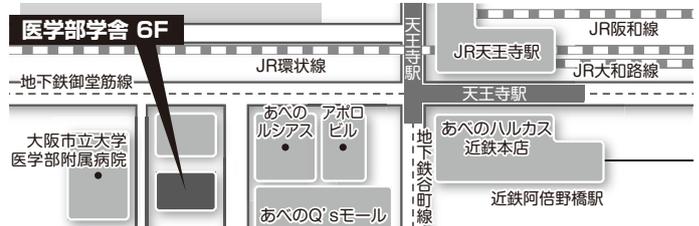
会場 大阪市立大学医学部学舎 6階中講義室2

参加費 500円(一律)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 中家 清隆
E-mail: m1357265@med.osaka-cu.ac.jp

これだけはやっておきたい
ICTラウンドのために臨床検査技師が
知っておきたいポイントと微生物の特徴
について

講師 神戸大学医学部附属病院 中村 竜也
大阪市立大学医学部附属病院 中家 清隆



府民
公開講座

生殖医療部会 講演会

予告

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今回は二本立て！！生殖医療を知る上で、染色体や遺伝子
は知っておかなければならないことです。染色体や遺伝子に
ついて、基本的なことを解説していただく予定です。生殖医
療の現状では、不妊治療を受けられる患者さんの年齢の問題
や体外受精により生まれた赤ちゃんの現状について、お話し
する予定です。

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種
の方の参加も大歓迎！！皆さまお問い合わせのうえ、多数
のご参加をお待ちしています。

日時 平成27年2月19日(木) 18:45~20:00

会場 大阪鉄道病院 3階会議室
(〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-22)

参加費 無料

連絡先 大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL:06-6628-2221 (内線 5165)

1 「染色体・遺伝子の基礎」
講師：天理よろず相談所病院 福塚 勝弘

2 「生殖医療の現状」
講師：大阪鉄道病院 内野 義彦

ご注意 セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会
参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。



日臨技申請事業 血液検査部門 特別講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

今回のテーマは骨髄生検です。検査を行っても見方や考え方など、ほとんどわからないのが現状ではないでしょうか？大阪市立総合医療センターの井上先生がわかりやすく講演していただきます。皆さんふるってご参加ください。

日時 平成27年1月24日(土) 14:30~17:00

会場 あべのメディックス 6階

参加費 会員500円 非会員1,000円
※日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱い。

共催 シスメックス株式会社

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 稲田 孝
TEL:072-840-2641

「Ipsogen BCR-ABL1 MbcR IS-MMR DX試薬」のご紹介

講師：シスメックス株式会社 学術部 学術三課 吉本 倫子

骨髄生検標本でわかること

講師：大阪市立総合医療センター 病理診断科・病理部部长 井上 健

各種白血病をはじめとした造血器悪性腫瘍の多くは、リンパ節病変を除いては骨髄穿刺塗抹標本を用いて血液内科医や小児科医によって診断されることが多く、骨髄クロット標本や骨髄生検標本は病理医にとっては敬遠されがちな診断材料である。ところが、悪性リンパ腫の臨床病期の判定や癌の転移、不明熱の検索などでは骨髄生検標本の病理診断がきわめて重要であり、また骨髄線維症では骨髄生検標本が唯一の診断材料となることもある。また白血病治療中の造血状況の確認など、骨髄の細胞密度を正確に把握する必要がある場合には骨髄生検標本で細胞密度を判断することが重要となる。

巨核球数の多寡についても骨髄生検標本の方が骨髄穿刺液塗抹標本よりも正確に判定することが可能であり、血小板減少症などの診断に有用である。

以上のように骨髄穿刺液のギムザ標本と骨髄生検標本はその有用性が発揮される領域は互いに異なっており、双方の利点と欠点を十分に理解しながら診断していくことが必須といえよう。

今回の講演では、骨髄生検標本の見方を中心に、造血器疾患だけではなく、骨髄生検の検索が診断に有用な非造血器疾患について概説する。本講演が、血液標本を実際に検鏡されている先生方の役に立つことができれば幸甚である。

免疫血清検査部門 特別講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 心疾患

新年を迎え、皆様方におかれましては、気持ちも新たに勉学に励もうと意欲の高まりを感じておられることと存じます。さて、免疫血清検査部門では本年度第二回目の特別講演会として「心疾患」をテーマに取り上げました。前半では心疾患バイオマーカーに関する新しい情報、また生理機能検査から見た心疾患のとらえ方をご教授いただきます。また講演会のトリは杉岡先生に「循環器疾患におけるバイオマーカーの役割」について分かりやすくご解説いただく予定にしております。ご多忙の時期ではございますが、皆様お誘いあわせのうえご参加くださいますようお願いいたします。

「心疾患～あらゆる角度から眺めてみよう」

14:30~14:50	心筋トロポニンI 高感度測定の意義 講師：アボットジャパン株式会社 学術情報室 青木 和雄
14:50~15:10	概説：心疾患バイオマーカー 講師：市立芦屋病院臨床検査科 上田 一仁
15:10~16:00	心疾患における生理検査(心電図・エコーを中心に) 講師：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 安保 浩二
16:15~17:00	心疾患と脂質・高感度CRPについて 講師：積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 金田 幸枝
17:00~18:00	循環器疾患におけるバイオマーカーの役割 講師：大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科 杉岡 憲一



日時 平成27年1月24日(土)
14:30~18:00

定員 100名(先着順)

会場 大阪医科大学 臨床第二講堂

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
E-mail:k.ueda@ashiya-hosp.com

参加費 会員1,000円
非会員2,000円

大阪医科大学
案内マップ

「放射線領域の画像診断学の臨床編」—MRI検査を中心に心臓・消化器系の画像診断— ＜臨床検査技師が学びたい放射線領域のMRIの画像診断＞

「MRIの画像診断から得られる臨床症例の解析」

講師 育和会記念病院 放射線科 技師長 渡邊 博隆

前回は引き続き放射線技師の方を招いて、放射線領域におけるMRIの画像を、臨床検査技師でもわかるように、症例を含めて説明していただきます。今回は、一般撮影・CT・MRIの基礎の説明でしたが、今回は、実際の画像を元に診断・解析して説明していただきます。我々臨床検査技師は、超音波画像からも検査結果を総合的に判断していますが、CTやMRIの画像は重要な判断材料になり、解析ができれば、臨床的に重要な情報が得られると考えています。放射線技師の生の声を今後の業務に生かしていただければ幸いです。

日時 平成27年2月27日(金) 18:30~20:00
(受付18:00~)

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階 大教室

参加費 500円(一律)

定員 60名

連絡先 中央地区長 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟

E-mail: kensa@noe.saiseikai.or.jp

TEL: 06-6932-0401(内線280)

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

日臨技推進事業 病理・細胞診特別講習会

今月のテーマは呼吸器領域の新WHO分類に準拠した組織像と細胞像です。2015年に肺腫瘍における新WHO分類が発刊される予定で、これまでの肺癌取り扱い規約と用語の違いも多くなっています。新しく変更されるポイントを中心に解説していただき、その組織像と細胞像の両面から肺腫瘍について理解していただきます。

今回は初めての大臨技と大阪府支部細胞検査士会の合同企画です。みなさまぜひご参加ください。

日時 平成27年1月30日(金) 18:30~20:30

会場 大阪市立総合医療センター さくらホール

参加費 会員1,000円 非会員2,000円

共催 日本臨床細胞学会 大阪府支部細胞検査士会

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
E-mail:kattu310a@gmail.com

18:15~ 受付開始

18:30~19:30 講演 1.

呼吸器新 WHO 分類と組織像

講師：大阪市立総合医療センター 井上 健

19:30~19:40 休憩

19:40~20:30 講演 2.

呼吸器新 WHO 分類と細胞像—腺癌を中心に—

講師：大阪府立成人病センター 竹中 明美

※ 今回は日臨技会員、大臨技会員、細胞検査士会大阪府支部会員の何れかの方は会員扱いとなります。

大臨技会員の方は大臨技会員証を必ず提示してください。細胞検査士クレジット所得予定です。



第29回 大阪病理技術研究会

術中迅速組織検査のアンケート調査、自動特殊染色装置に関して、最近の話題など病理検査に関する内容を企画しています。

詳しくは2月号で案内いたしますので、みなさんぜひ参加してください。

日時 平成27年2月22日(日) 午後

会場 住友病院 講堂

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
E-mail:kattu310a@gmail.com

大臨技後援行事のお知らせ

The 30th Annual Meeting of Society for Researches on Body Fluid and Metabolism 第30回 体液・代謝管理研究会年次学術集会

本会は、昭和60(1985)年8月24日に「侵襲時の体液代謝管理研究会」の名のもとに、大阪のホテル阪神にて開催されました。本会は「主として侵襲下の生体に関する体液と代謝の問題を総合的に研究し、この方面からの生命維持に関する理論、ベッドサイドでのデータ表示、臨床的活用法などの進歩をはかり、関連領域の医学の発展に寄与することを目的とする」を会則(第二条「目的」)に述べ、目的を達成のために学術集会の開催と研究会誌「体液・代謝管理」の刊行などの事業を行って参りました。30年の節目にあたる年次学術集会を、有意義な学術・情報交換の場といたく、皆様のご参加とご協力を願っております。

Theme 体液代謝管理30年のあゆみ

日時 平成27年1月17日(土) 9:00~17:00

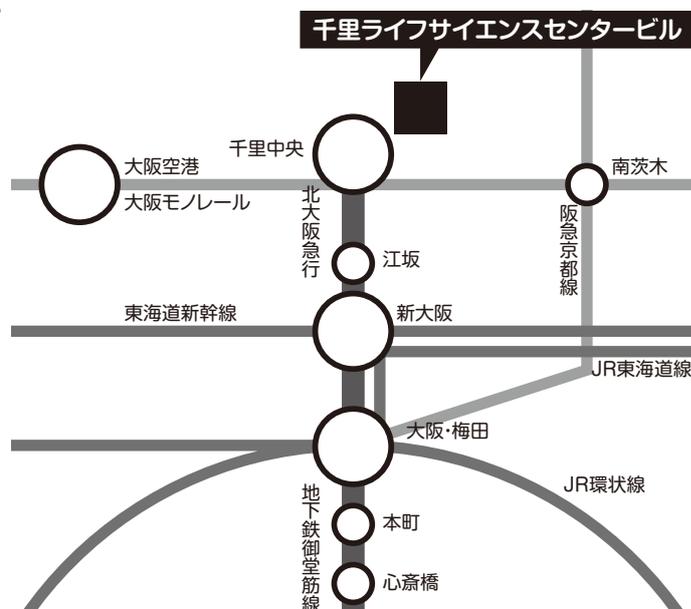
会場 千里ライフサイエンスセンター
山村雄一記念ライフホール・501・502・503号室
〒560-0082 豊中市新千里東町1丁目4番2号
Tel.06-6873-2010 Fax.06-6873-2011

集会長 増田 詩織
(近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部科長)

参加費 5,000円
(どなたでも参加できます。)

後援 公益社団法人大阪府臨床検査技師会
日本救急検査技師認定機構

連絡先 近畿大学医学部附属病院 中央検査部 増田 詩織
E-mail: shiori.masuda@sayama.med.kindai.ac.jp



体液・代謝研究会 ホームページ <http://taieki1985.jp/index.html>

9:00	開会
9:00~11:40	記念講演「体液代謝管理30年のあゆみ」 臨床検査30年のあゆみ 増田 詩織(近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部科長) 救急医療30年のあゆみ 横田 順一郎(日本臨床救急医学会代表理事・市立堺病院副院長) 集中医療30年のあゆみ 福家 伸夫(帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター教授) 研究会30年の回顧と未来への展望 高折 益彦(川崎医科大学名誉教授)
11:40~12:10	総会
12:10~13:10	ランチョンセミナー【積水メディカル株式会社共催】 敗血症性凝固異常における好中球細胞死の関与とDAMPs測定によるそのモニタリング 射場 敏明(順天堂大学医学部救急・災害医学教授)
13:10~14:00	教育講演「外傷診療における輸血・輸液管理」 外傷診療における輸血・輸液管理 溝端 康光(大阪府立大学大学院医学研究科救急医学教授)
14:00~15:00	特別講演「体重増加を伴わない輸液管理」 The harm of fluid overload (third spaceの概念の刷新と適切な輸液管理についての考察) Birgitte Brandstrup, Consultant Surgeon, Clinical Associate Professor, Ph.D.
15:00~17:00	シンポジウム「V2リセプター拮抗薬と周術期の体液管理」 体液調節の異常におけるバソプレシンの病態生理学的役割 石川 三衛(自治医科大学附属さいたま医療センター内分泌代謝科教授) トルバプタンの開心術後水分管理における安全性と有用性の検討 田中 正史(湘南鎌倉総合病院心臓血管外科部長)
17:00	閉会

★日本救急検査技師認定機構共催 15:00~17:00 コメディカル向けのシンポジウム企画中

Theme 「緊急企画！」：エボラ出血熱最新情報と対応策の実際」

日時 平成27年2月7日(土) 15:00~17:30

会場 大阪医科大学 P101講堂

**緊急
演題**

講師：りんくう総合医療センター 中央検査科
科長代理 原 克則

**特別
講演**

講師：りんくう総合医療センター 総合内科・感染症
内科部長兼感染症センター長 倭 正也

学術部 一般検査部門 からのお知らせ

他職種
公開講座

大臨技 一般検査フォーラム 2014のご案内

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

昨年度、大変好評だった「大臨技一般検査フォーラム」ですが、本年度も開催することとなりました。今回の内容は、午前中に大臨技部門員による症例から尿検査で重要となる疾患について、午後からは小山先生による少し踏み込んだ異型細胞の鑑別法と星先生による円柱の臨床的意義について学び、尿沈渣を改めて学べる内容となっております。

なお、本フォーラムはランチョンセミナー開催の都合上、予約制となっております。お手数ですが下記の参加要項をご確認の上、お申込みください。多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時

平成27年2月8日(日) 10:00~17:30

会 場

関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

参加費

会員1,000円 非会員2,000円

定 員

100名

共 催

アークレイマーケティング株式会社

連絡先

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
堀田 真希

E-mail masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

プログラム

9:30~10:00 受付

10:00~12:00 「尿検査から疾患を学ぼう！」

- ・ IgA腎症
- ・ 糖尿病性腎症
- ・ 尿路上皮癌
- ・ ネフローゼ症候群

講師：大臨技一般検査部門 世話人

12:10~13:00 「ランチョンセミナー」

13:10~14:40 「異型細胞を鑑別するための必要な知識
～異型細胞を鑑別するコツ～」

講師：京都桂病院 検査科 小山 賢

14:50~16:20 「円柱類の臨床的意義とその問題点」

講師：鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科
臨床検査コース 星 雅人

病院付近は駐車禁止区域となっておりますので、
できるだけ電車・バスなどをご利用ください。

- 京阪電車「滝井駅」徒歩3分
- 地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅2番出口徒歩10分



【募集要項】

申込受付期間 平成27年1月5日(月)~平成27年1月23日(金) 定員になり次第終了します。

申込方法 E-メールにて下記の内容についてお送りください。

メールアドレス：**osaka.ippan@gmail.com**

①氏名 ②施設名 ③施設住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

⑥会員番号・会員区分(会員証のある方のみ、日臨技・大臨技などの所属を記載)

※ お申し込み後、土日を除き2~3日中に確認メールをお送りいたします。

※ 携帯メールは基本的に不可とします。ただしE-メールを受信可能な場合のみ可能とします。

※ お申し込みは1メールにつき1名とします。

※ 施設内での複数名受講は可能ですが、参加者が多数の場合は調整をお願いする場合がありますのでご了承ください。

第8回 学術部講演会 予告

交通機関の発達により海外での感染症の恐怖にさらされること
が近年、ニュース等で報告されており、不安を感じる方もおられ
ると思います。一方、散発的に院内感染の報道がされています。

今回、誤った知識や誤解などによる感染症への不安を除くため
に、あらためて基礎知識から振り返ってみたいと思います。

国立国際医療研究センター 感染症内科 国際感染症センター
忽那賢志先生を講師にお招きし、ご講演いただきます。また、そ
のほか、感染制御に精通した先生方もお招きする予定です。みな
さんふるって参加ください。

Theme 知っておきたい感染制御(仮)

日時 平成27年2月7日(土) 14:30~17:30

会場 住友病院 12階 講堂

連絡先 関西医科大学附属滝井病院 高田 厚照
E-mail: takada@takii.kmu.ac

平成26年度 日臨技近畿支部臨床化学研修会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

実務担当技師会：兵庫県臨床検査技師会

Theme 「ブラックボックスを可視化する」 ～実験操作を通じて臨床化学分析の基礎理論をマスターしよう～

自らの用手操作でデータを得ることにより、自動化されたルーチン検査においても
理解が深まり応用可能となること。

もう一度基礎からマスターしたい方、ステップアップしたい方に最適です。

日時 平成27年2月22日(日) 9:30~17:00

会場 神戸常盤大学
〒653-0838 兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

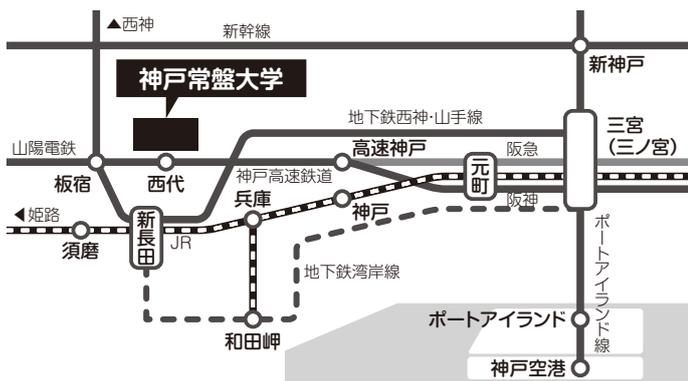
定員 40名(先着順)

受講料 日臨技会員3,000円(テキスト付)、非会員5,000円
*日臨技行事のため、各地区臨床検査技師会会員のみの
方は非会員扱いとなります。

申込み方法 平成26年12月15日~平成27年2月10日の期間に
日臨技会員番号、所属先、氏名をメールにて下記へ
送信ください。
詳細は追ってご連絡いたします。

申込み先 関西労災病院 中央検査部 芝原 裕和
E-mail:kagaku@kanrou.net

- 9:00~9:30 受付
- 9:30~9:40 開講式 中町祐司 近畿支部長挨拶
- 9:40~10:40 講義1 「臨床化学分析の基礎理論について」
ファルコバイオシステムズ総合研究所
藤本 一満
- 10:40~11:30 講義2 「試薬開発と自動分析への
アプリケーション」
株式会社セロテック企画開発部
細川 幹夫
- 11:30~12:00 講義3 「実験操作の説明と自動分析との対比」
関西労災病院 芝原 裕和
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~16:50 実習「用手分析の実技」
分光光度計、検査試薬を使用して、参加者各自が濃度項目の分
析を行い濃度計算の基本を習得するための実験操作を行いま
す。実務指導員を3~4名に1名配置しますので理解できるまで
質問可能です。
- 実習担当：神戸常盤大学 澁谷 雪子、京都保健衛生専門学校
後藤 直樹、市立敦賀病院 東 正浩、岸和田徳洲会
病院 山中 良之、和歌山県立医科大学 堀瑞 伸行、
奈良県立医科大学 倉田 主税、近江八幡市立総合
医療センター 元中 秀行、神戸常盤大学教員、
兵庫県臨床検査技師会臨床化学研究班員 他
- 16:50 閉講式



学術部 検体管理システム部門 からのお知らせ

平成25年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告

「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」

大臨技標準化推進委員会は、平成26年8月に第7回大臨技臨床検査精度管理調査を実施しました。現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題であり、大臨技としても、よりよい事業にすべく今後も継続して推進していく予定であります。

また今年度は、日臨技が進める日臨技精度保証施設認定制度に対応するため、評価項目を大幅に増やした3回目の精度管理調査となりました。

検討すべき課題は様々あるかと思いますが、事業報告ならびに標準化推進事業に対するご意見をうかがいたいと思います。つきましては、標準化推進事業に参加された方、この事業にご興味のある多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、詳細につきましては2月号にてご案内いたします。

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点
日臨技生涯教育点数

内容

平成26年度

大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告

日時 平成27年2月21日(土) 14:30~17:00

会場 宝塚大学 大阪 梅田キャンパス

参加費 会員500円 非会員3,000円(技師長会共通)

連絡先 独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)

大阪病院 中央検査室 竹村 真俊

E-mail: m-takemura@okn.gr.jp

TEL: 06-6441-5451(内線2345)



情報組織部 からのお知らせ

第31回 技師長会



Theme 「医療安全」

第31回技師長会は大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会とのコラボレーションにより、「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」と共同開催いたします。技師長会からは医療安全について講演研修会を開催します。

日時 平成27年2月21日(土) 14:30~17:00

会場 宝塚大学 大阪 梅田キャンパス

参加費 会員500円 非会員3,000円(標準化事業報告共通)

連絡先 大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤

E-mail: idota-at@mc.pref.osaka.jp

TEL: 06-6972-1181

Voice

臨床検査技師教育機関からの声

大学卒業後の進路

私が通っていた大学では、学部卒業時、修士卒業時の時期の違いはありますが、最終的には学生の8割ほどが臨床検査技師として病院に務めております。しかし、大学生生活の4年という期間において、実際の病院業務を思い描くことのできる場面は非常に限られています。3年生の時に、実際の現場で数日実習をさせていただくインターンシップがあり、そこではとても貴重な意義のある経験をすることが出来ました。それ以外では、卒業を間近に控えた4年生の後期に附属病院で行われる病院実習まで、病院業務を肌で感じられる機会というのはありませんでした。それ故に、学生の大半は卒業後の進路を悩んだまま日々の勉強に追われているというのが現状でありますし、私は卒業後は大学院へと進学しましたが、その決断をしたのは4年生になってからのことです。

そんな学生たちにとって大きな情報源となるのは、既に卒業されて社会人となっている先輩方からの言葉です。私の大学は全学部合わせても一学年300人弱という、医学部・歯学部のみで少数人数の大学であったこともあり、サークル活動などの学部・学年を越えた交流がとても盛んで、そこで私も病院で働

いている検査技師さんや、検査専攻を卒業されて企業で働く方、あるいは大学院へと進学されたOB・OGの先輩から、多数の貴重なお言葉を賜ることができました。

私は現在は大阪大学大学院へと進学し、検査技師という職種から離れて研究に打ち込む一方、非常勤職員として臨床検査技師のアルバイトをしながら生活しております。ここ大阪大学は、私の出身大学に比べ、総合大学という側面もある為か、あまり他学年での交流が盛んではないように感じられます。私自身は、来年度からは臨床検査技師として病院で勤めることが決まっております。そこで、卒業して臨床検査技師となった際には、自らの体験を後輩諸子に還元し、進路に悩んでいる後輩の一助になればと思っています。

アルバイト先の病院では、そこに勤めている臨床検査技師さんに様々な相談をさせていただきました。実際の現場でそのような機会が得られることは僅かかもしれませんが、大学時代にもう少し積極的に病院見学等に参加すれば良かったとも思っています。

大阪大学医学系研究科 生体情報科学講座 博士前期課程2年生
中村 拓磨

「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」 アンケート集計報告

参加された皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。次回の開催に反映させていただきます。

1 講習を受けてどうでしたか？	よかった	よくなかった	どちらでもない	記入なし			合計
	47	1	0	0			48
2 受講料はどうでしたか？	妥当	高い	安い	記入なし			合計
	47	1	0	0			48
3 ビデオ講義形式はどうでしたか？	よかった	よくなかった	わからない	記入なし			合計
	13	23	12	0			48
4 ロールプレイ体験はどうでしたか？	よかった	よくなかった	わからない	記入なし			合計
	37	0	0	11			48
5 講義内容別の評価(5段階)	とてもよかった	よかった	普通だった	ものたりなかった	よくなかった	記入なし	合計
取り組む意義(ビデオ)	3	23	12	9	1	0	48
期待するもの(ビデオ)	6	24	13	5	0	0	48
看護師の患者接遇(ビデオ)	13	19	12	4	0	0	48
実践から学ぶ(ビデオ)	7	24	11	6	0	0	48
患者心理	38	8	2	0	0	0	48
接遇の基本	45	3	0	0	0	0	48
検査説明の実際①：技師	37	10	1	0	0	0	48
検査説明の実際②：医師	36	9	3	0	0	0	48
R CPC	35	10	1	1	0	1	48
検査説明模擬演習	30	10	0	1	0	7	48

6 講習会の感想、意見、要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオによる講義はできるだけ減らしてほしい。 ・参加して良かったです。 ・R-CPCを当科で実施してみます。 ・実際に検査説明をされている施設の体験談などを聞かせてもらいたい。 ・CPCやロールプレイはかなり緊張しますが講義ばかりの講習ではなく、刺激があって勉強となりました。 ・勉強の仕方・考え方がよくわかり今後の課題が見えました。 ・実践がない。 ・話を聞くだけでは、自分の悪いところが見えない。 ・R-CPCのような研修を増やしてほしい。全体的には勉強になった。 ・患者心理・接遇など、大変勉強になりました。 ・知識不足が不安です。 ・継続的な勉強もあるとよいと思います。(事例集とか) ・相談や説明できる時間を作って始めていきたいと思った。 ・検査説明を業務として必要という以前に、人として・医療スタッフとしての大切なことを学び直せたいと思います。 ・検査説明模擬演習に特化した企画をお願いします。 ・すでに実施している施設のQ&Aを取りまとめできないでしょうか？ ・今回の研修を受けて技師の検査説明における役割を再確認できた。 ・今回の研修を受けて技師の検査説明における役割を再確認できた。 ・今後上司と相談しながら、検査説明に取り組んでいきたいと思えます。 ・自施設で導入できるように検討していきたいと思えます。 ・模擬演習はもっとロールプレイングしたかったです。 ・接遇からデータの読みまで、盛りだくさんで勉強になった。 ・検査説明のためには、まだまだスキルのアップしないと痛感した。 ・臨床検査技師が検査説明をすることの意義やR-CPCを通してデータとの向き合い方を学びました。 ・すぐにはできそうにもないので、もう少し勉強する機会が欲しいです。 ・現在行っている”検査説明”から更に1段階進んだ形を作っていく努力が必要であると思いました。 ・検査説明模擬演習の内容聞いて、現実の難しさもわかりました。 ・生理(特にECG)の模擬をしてほしい。 ・皆に進めたくなるような満足した講習会でした。 ・接遇の講習が本当に、これからの仕事だけでなく自分にとってためになることを、たくさん教えていただきました。 						
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--

7 今後検査説明相談ができそうですか？	できそう	できない	まだわからない	記入なし			合計
	18	1	25	4			48
8 検査説明しうる分野(いくつでも可)	糖尿病外来	SMBG	健診全般	生理全般	検査の多い診療科の患者へ	検査の少ない診療科の患者へ	合計
	20	16	20	15	12	9	92
	22%	17%	22%	16%	13%	10%	100%

9 検査説明のための課題は？	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の問題。部屋の確保。知識の標準化。 ・自身の知識不足。知識の向上。 ・治療方針を熟知しないと、やすやすと言えない項目が多い。 ・知識を向上しないと説明しがたい。 ・知識を増やすこと。 ・接遇を自然にできるようにすること。 ・人材育成(適性の見極め)。医師の理解。 ・主治医とのコミュニケーション。 ・検査室の体制。 ・検査課としての正式な業務として、部署内での認識一致。 ・スタッフの理解。 ・責任者のリーダーシップ。 ・知識・対応のスキルアップ。 ・ランチなので、どの程度生理検査の人間(病院職員)が行うのか。 						
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--

日臨技近畿支部医学検査学会が8年ぶりに、大阪で開催される！

Theme 臨床検査から医療への主張
～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～

会期 平成27年10月17日(土)～18日(日)

会場 大阪国際交流センター
(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

同時開催

第58回 日本臨床検査医学会近畿支部総会
第35回 日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

これから、大臨技ニュースやホームページにおいて学会情報を発信していきます。
“学会事務局からのお知らせ”をご一読いただきますよう、お願い致します。

学会まで あと10ヶ月……………

事務局 清水 隆之

大臨技事務局からのお知らせ

■ 大臨技退会申請について

平成26年度末で大臨技退会を希望される方は、平成27年3月31日までに退会申請を行ってください。大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、大臨技事務所まで提出してください。

※【重要】日臨技にも入会されている方は、日臨技と大臨技の両会に退会申請してください。

■ 平成26年度大臨技会員証について

平成26年度分の会員証の発行は10月発行分をもちまして終了いたしました。

11月以降は、「会員登録証明八ガキ」を会員証の代わりとして発行しました。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項を記入の上、大臨技事務所へ届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。

再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「会員登録証明八ガキ」を会員証の代わりといたします。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号届出書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録されます。

※【重要】届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務局まで提出してください。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成26年度 第8回(11月13日)開催分

1. 第1回役員候補者選出委員会を開催

・ 委員および委員長は以下のとおり

委員長: 辻 義則

委員: [北地区] 松本典久、岩津浩子

[南地区] 池田勝美、三平りさ

[中央地区] 辻義則、大西正信、久保清夏

・ 協議事項、スケジュールは別報告

2. 検体採取に関する厚労省指定講習会について

臨床検査技師法等に関する法律の一部改正され、診療補助(医行為)として採血に加え、インフルエンザ等の検体採取が業務追加されたことを受けて、検体採取を行う臨床検査技師は厚労省指定の講習(日臨技主催)を受講することが義務付けられた。講習会開催場所は厚労省地方厚生局所在地となっており、近畿地方は大阪での開催となる。

3. 日本赤十字社献血功労団体表彰について

当会の献血推進活動に対し、12月19日に日本赤十字社から献血功労団体表彰(金色有功賞)が献血感謝の式典で贈呈されることになった。

4. 平成27年度「全員加入保険」補償内容について

日臨技の全員加入保険に以下の補償が追加されることになった。

① 業務中の感染に対し、HBV18,000円 HCV180,000円 HIV600,000円を補償する。

② 日臨技退会後でも5年間は、現役時代の業務に起因する賠償を補償する

5. 日臨技近畿支部学会3団体合同会議について

来年、3団体同時開催の近畿支部学会について日本臨床検査医学会近畿支部、日本衛生検査所協会近畿支部と合同の会議を12月13日に関西医科大学附属滝井病院で開催する。

6. 叙勲受章について

小寺健一氏「瑞宝双光章」受章記念祝賀会を12月21日ホテル大阪ベイタワーで開催することが決定した。

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！

会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■ 平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」（大臨技のみの会員専用）について
平成27年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」は、平成27年4月1日からの加入となります。平成27年度「年会費」納入の際に手続きをお願いします。

- ※申込みには、「保険加入依頼書」の提出と保険料納入の両方が必要です。両方を確認しましたら、加入手続きを行います。
- ※大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入は、年毎に申し込みが必要です。
- ※一旦納入された保険料は返金出来ませんのでご注意ください。

■ 平成27年度「年会費」納入について
日臨技・大臨技の両方に入会されている方と大臨技のみに入会されている方とでは、会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。詳細は大臨技ホームページをご覧ください。

※【重要】大臨技ニュース12月号に、「会費納入依頼」と「入会案内」を同送いたしましたので、熟読のうえ、対応をお願いします。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引き落とし（平成27年2月27日予定）されます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に、必要事項を記入し、**大臨技年会費5,000円を平成27年2月28日までに**お振込ください。2月28日までに納入されましたら平成27年度 大臨技会員証を4月中にお届けできます。それ以降に納入されますと会員証の発送が遅れますのでご注意ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

Personal Use

あなたの「いつも」を快適に。

シンプルな操作で血糖測定を実現 経済性にも配慮しました

自己検査用グルコース測定器

ツールピコ

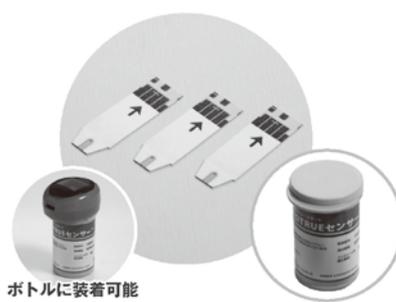
ニプロTRUEpico®



自己検査用グルコースキット

ツール

ニプロTRUEセンサー®



特長

- 必要血液量: 0.5μL、測定時間: 約4秒
- 測定範囲: 20~600mg/dL
- 小型・軽量 (17g)
- 初期設定不要 (時刻合わせや環境設定がありません)

■ニプロTRUEpico® 医療機器承認番号: 22500BZX00118000 高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器
■ニプロTRUEセンサー® 医薬品承認番号: 22500AMX00894000

単回使用自動ランセット

ニプロLSランセット



■医療機器認証番号: 224AA8ZX00195000
管理医療機器(クラスⅡ)

○使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。



NIPRO

製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製品に関する
お問い合わせ先

0120-834-226

9:00~17:30(土・日・祝祭日を除く)
※電話番号をよくお確かめの上、お掛けいただきますようお願い致します。

2013年8月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成27年2月号の原稿メ切りは**1月4日(日)**、3月号は**2月3日(火)**です。